

パフォーマンスアート科 シラバス例

○授業名:楽器演奏1

楽器演奏1ではインスト楽曲のセッションアンサンブルのスキルについて学び習得する。

○授業の流れ

第1週～第5週	演奏フォームの基礎、読譜、記譜の基礎と譜面上の主な記号、各種メジャースケールなど、アンサンブルを行うにあたっての技術的な基盤をつくる。
第6週～第10週	メジャーkey、マイナーkeyの代表的なコード進行や、マイナースケール、ブルーノートとブルースのハーモニーなど発展させたスケール、コード和音の理解を深める。
第11週～第15週	振り返りを行い指板上の知識と技術をより確実なものにする。ワンコードの場合のアプローチやメジャーkeyのダイアトニックコードに対するライン作りとアプローチノートを学ぶ。
第16週～第20週	マイナーkeyのコード和音、アルペジオ、スケールを知り、それを応用し各コード進行に合わせてソロメイキングを学ぶ。また8ビート、16ビートの理解を深める。
第21週～第25週	シャッフル/3連系のグルーブ感を習得する。更に発展しシンコペーションを含めた、Swing 16thのフレーズメイキングを学ぶ。
第26週～第30週	サンバ、ボサノヴァ、レゲエ、サルサなど民族音楽の要素を取り入れたグループを習得する。様々な要素を取り入れ、アンサンブルの中での活用法を実践し習得する。

音楽テクノロジー科 シラバス例

○授業名:PA BASIC

PAエンジニアに必要な音の信号の流れを理解し、使用する機材の名前から基本的な扱い方を習得した上で、前期中に簡易PAセットが組めるようになる事を目標とする。後期はチューニングやデジタルコンソールの操作方法を学び、学内ライブホールにおけるバンドイベントの仕込みからリハーサル、本番、バラシまでの一連の流れを理解し、ステージマンに必要なスキルと知識を習得し、就職活動に備えることを目標とする。

○授業の流れ

第1週～第5週	信号の流れの理解、電源の取り方、マイクの知識、スタンドの扱い方、ケーブル巻き、アナログ卓の操作方法、スピーカーの知識等を学び、簡易PAセットを組めるようになる。
第6週～第10週	簡易PAセットに追加していく様々な機器(CDデッキやエフェクター、イコライザー等)に関する知識と操作方法を学び、プランニングされた資料の見方からその仕込みまでを習得する。また外部ホールで行なうPAの基本スキルを学ぶ。
第11週～第15週	マルチウェイスピーカーの知識を学び、ステージ、モニター、ハウスに分かれての作業や、ハウスミキサー、モニターミキサーの頭分けまでを学ぶ。また、前期の総仕上げとして、少人数で簡易PAセット組みをマスターする。
第16週～第20週	デジタル卓の基礎的な知識と操作方法、スピーカーチューニング、エフェクターの知識と操作方法を学ぶ。
第21週～第25週	サウンドチェック(ドラム、ベース、キーボード、エレキギター、アコースティックギター、ヴォーカルなど)を学ぶ。
第26週～第30週	外部ホールで行なう進級制作展でのライブ本番に向けて、ライブPAのシミュレーションを繰り返し行ない、実際のライブに必要なPAスタッフとしての基礎能力を養う。